

おサイフ事情



一緒に見て
みるニャ!

岡 財政課 Tel.086-803-1146

市民の暮らしと市の未来を支える「予算」。私たちの生活に深く関わっているのは知っているけど、その内容や使い道はよく分かっていない…という人も多いのではないのでしょうか？ 今回の特集では、「財政事情=おサイフ事情」に見立てて、その仕組みを分かりやすく解説するとともに、令和7年度予算の注目ポイントも紹介していきます。

Q.「予算」って何？



予算とは、1年間の収入と支出を見積もって、行政の活動の計画を立てるものです。新年度が始まる前に、どれくらいの収入があるかを計算して、子育て支援や教育、高齢者・障害者福祉、公共交通など各分野への予算の配分を決定します。



1年間のお金の使い
方を、前もって計画し
ているニャ!

Q.令和7年度の当初予算はどうなっているの？



全会計総額 **6,840億円**

事業会計
791億円
(11.6%)

事業会計とは？

上下水道や病院などの公営
事業を運営するための予算

特別会計とは？

特別会計
1,956億円
(28.6%)

国民健康保険や介護保険など、
特定の事業や目的のために一般
会計と分けて管理する予算

予算

一般会計
4,093億円
(59.8%)

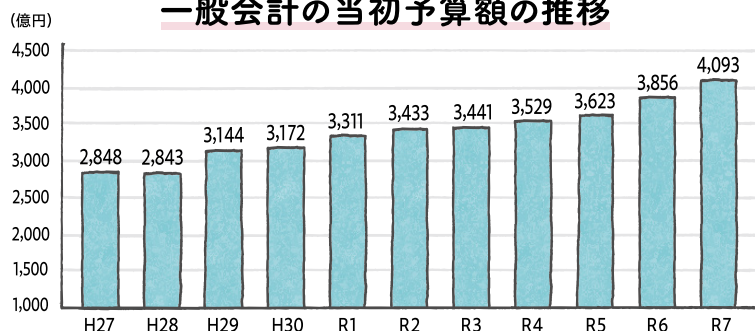
一般会計とは？

子育て・教育、福祉、環境
など市民生活に直結する
行政の活動の収入と支
出を管理する予算

令和7年度予算の全会計総額は6,840億円
となりました。なかでも、「一般会計」は過去
最高額に。

次のページからその詳細を見ていきます。

一般会計の当初予算額の推移



一般会計の予算額は、
毎年増えているのね。

市の予算規模は毎年安定し
て増加していて、令和7年度の
一般会計は4,093億円。これ
が可能になるのは、収入が堅
調に伸びているからなのニャ。



Q. 一般会計の内容はどうなっているの？



「歳入」は市の収入のことで、主に市民や企業の税金、地方交付税、市債などから構成されます。一方の「歳出」は、子育て、教育、福祉、環境など市民生活に直結する行政の活動に対する支出です。では、一般会計の収支を見てみましょう。

収入＝歳入

支出＝歳出



企業や個人が納める市税1,400億は収入の約3割を占めているね。

市税 1,400億円

個人市民税、法人市民税、固定資産税、都市計画税など

地方譲与税・交付金 342億円

国が集めた税のうち、自治体に配分しているもの

地方交付税 527億円

国・県支出金 1,039億円

各事業に対して国や県が支払うお金

市債 479億円

資金を調達するために発行するもの

その他 306億円

その他 17億円

総務費 492億円

市役所の全般的な事務にかかる費用など

民生費 1,653億円

子育て、子どもの福祉、高齢者、障害者、生活困窮者の支援にかかる費用など

衛生費 309億円

ごみ処理やワクチン接種にかかる費用など

農林水産業費 69億円

農林水産業の振興にかかる費用

商工費 33億円

商工業や観光振興にかかる費用

土木費 480億円

道路や公園などの整備にかかる費用など

消防費 118億円

消防活動にかかる費用

教育費 599億円

市立小・中学校の教育にかかる費用など

公債費 323億円

市債の返済にかかる費用

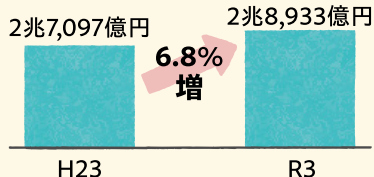
収入が増えた背景は？

H23年度～R3年度の

市内総生産の伸び率は6.8% **3位**
政令指定都市の中で

市内総生産…市内で1年間に生産されたモノやサービスの総額

市内総生産(実質)の伸び率

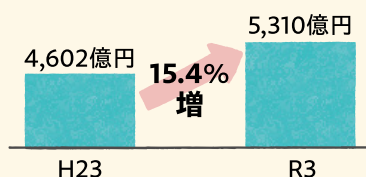


H23年度～R3年度の

民間投資の伸び率は15.4% **2位**
政令指定都市の中で

民間投資…企業や個人が行う設備投資や事業投資、住宅投資などの1年間の総額

民間投資(実質)の伸び率



出典: 令和3年度国民経済計算年次推計(内閣府)、令和3年度市民経済計算

市内経済の拡大

収入増

行政サービスの充実

循環して良い効果が生まれているんだニャ。



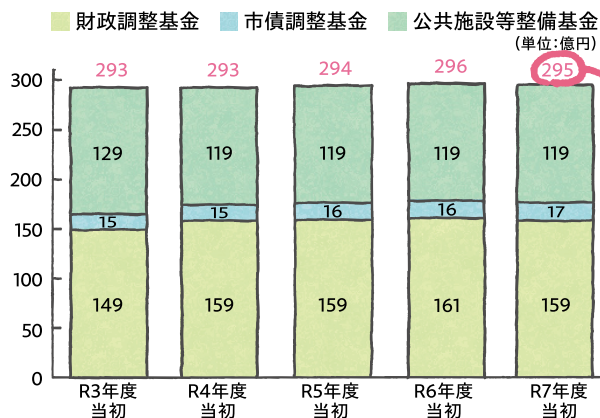


Q.ところで、岡山市の財政って大丈夫なの？

家計をやり繰りするのと同じように、市でも収入の状況を見極めた上で、有利な市債や備えてきた基金を活用し、財政運営しています。下のグラフのように基金の残高(貯金残高)を維持しながら、市債(借金)も増えないようにしています。

基金残高とは？

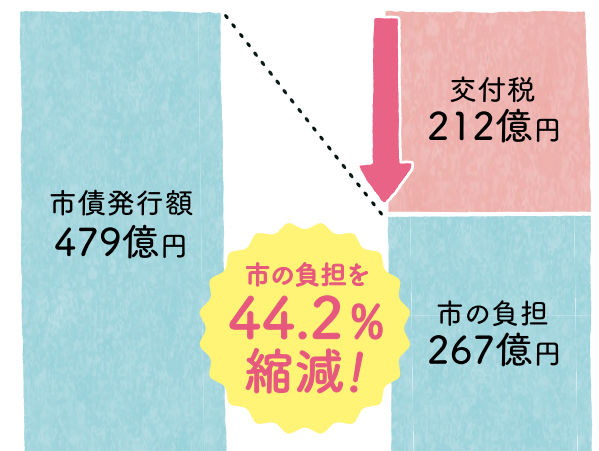
「基金残高」は、市の貯金額にあたるお金です。あらゆる事態に備えて迅速かつ機動的に対応できるよう、約300億円の基金残高を継続的に確保しています。



岡山市の財政規模なら約200億円程度が適切な水準とされている中で、295億円貯金できているのニャ。

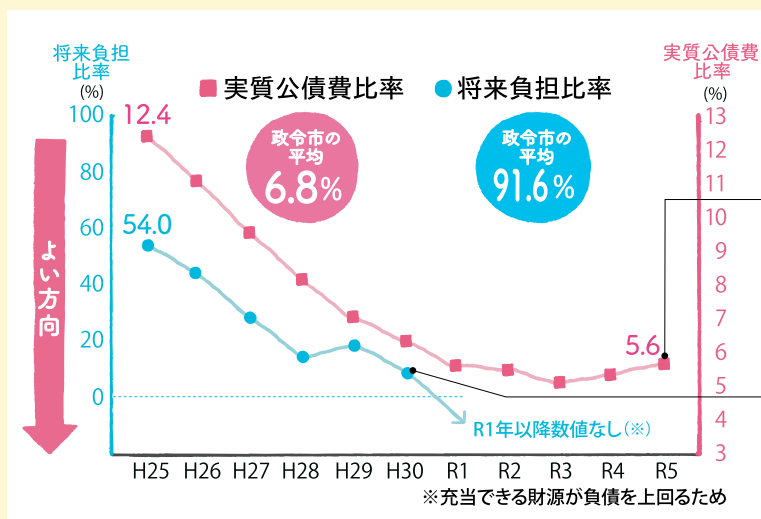
令和7年度の市債発行のポイント

令和7年度の市債発行総額は479億円。デジタル活用推進事業債(仮称)、合併推進債など、負債の一部に国からの交付税をあてることができる「有利な市債」を活用することで、実質的な市の負担を約半分に抑えました。



指標で分かる！

岡山市の健全な財政！



財政運営の健全性を全国統一的に測るための指標(=財政指標)を岡山市でも毎年作成しています。いくつかある指標のうち、今回は「実質公債費比率」と「将来負担比率」を例にあげて紹介します。

実質公債費比率とは？

収入に対する負債の返済割合のこと。比率が低いほど、負債の返済以外で自由に使えるお金が多いことを意味します。

将来負担比率とは？

収入に対する将来負担すべき負債の割合のこと。比率が低いほど将来の負担が少ないことを意味します。



岡山市では、両方の指標で政令指定都市の平均より良い数値。つまり健全で安定した財政運営ができているといえるニャ。

10年前と比べて、財政指標がすごく良くなってるんだね。これからの私たちのためにも、引き続き上手にやり繰りしてほしいな。



Q.「有利な市債」ってどういうもの？



「有利な市債」って
何ですか？

市債の中には、国が返済の一部を引き受けてくれるものがあるって、
実質的な市の負担が大幅に軽減できるんだニャ。



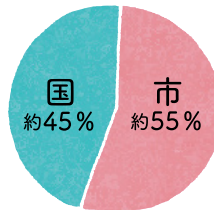
こんな事業で
活用しています！

岡山芸術創造劇場ハレノワ

令和5年に新たな文化施設としてオープン。



ハレノワ整備費の
負担割合



お得な制度を活用して上手
にやり繰りしているのね！



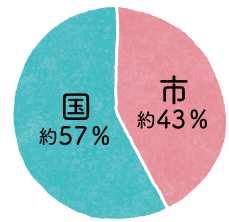
新庁舎整備事業

現在の本庁舎は老朽化が進み、災害時に業務の継続が
できない可能性があるため、新庁舎の整備を進めています。

新庁舎外観イメージ(2期工事完成後)



新庁舎整備費の負担割合

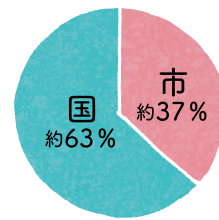


路面電車乗り入れ事業

公共交通の利便性を向上させる
ため、岡山駅前広場への乗り入
れ事業を進めて
います。



乗り入れ事業費の負担割合



Q.どんなまちにしたいって予算が決まったの？



市は、まちのにぎわいづくり
や産業振興、子育て・教育、福祉、
防災などさまざまな施策に力
を入れています。加えて、歴史・
文化・スポーツが持つ魅力をさ
らに高めて、「より誇れるまち岡
山」の実現を目指しています。

今後もしっかりと財政状況
に留意しつつ、上手にやり繰り
しながら市民生活の充実につ
ながる施策を積極的に進めて
いきます。

令和7年度
当初予算の特徴
より誇れるまち
岡山へ



産業の振興

地域振興

街を楽しむ

子育て・教育
の充実

公共交通
の充実

福祉の充実



もっと詳しい予算の使われ方は次のページをチェック！